



三ツ境通信

(みつきょう つうしん)

令和元年度 校長室だより

第9号 R2. 3. 6

みつきょうようごがっこう じどうせいと みな
三ツ境養護学校 児童生徒の皆さんへ

臨時休校になってから1週間がたちました。皆さん、元気で過ごしていますか。

3月5日から、三ツ境養護学校のホームページに「みつきょうチャンネル」
を開設しました。3月6日には栄養教諭の先生の手づくりの「しょくいく
ぬりえ」をのせています。学校の先生たちからメッセージを発信して
いきますので、時々開いてチェックしてみてくださいね。



それから、ホームページが見られる人は、文部科学省ホームページにある「臨時休業期間に
おける学習支援コンテンツポータルサイト（子供の学び応援サイト）」なども参考にしてみ
てください。わからない時は、お家の人などに聞いてみてください。

家にも手洗い・うがいをして水分をとること、人混みにいかないようにすること、そし
てしっかり休養をとるようにしてくださいね。

子供の学び応援サイト

検索



《保護者の皆さまへ》 臨時休校中の連絡について

三ツ境養護学校では国及び神奈川県教育委員会の方針を踏まえ、3月2日から春休みまで休
校とすることといたしました。今後も情報が更新されることがあります。その際にはメールや
学校ホームページにて情報を発信してまいります。

また、体調等の聞き取りをさせていただくため、学校からご連絡をさせていただくこともあ
ります。ご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

年度末を迎えて

日差しの暖かさを感じる季節となり、児童生徒たちの笑顔や表情、手足の動きや声、挨拶や
会話・・・様々な場面で、一人ひとりの成長を感じていたところです。

卒業、進級に向けて、3学期は様々な行事や交流が計画され、きめ細かく準備や練習を重ね
てきておりました。しかし、新型コロナウイルスに関する情報が日々更新され、2月下旬には
国や県の通知等により儀式・行事や教育活動についての規模縮小・時間短縮、実施時期延期・
活動中止等の対応を検討し、実施計画の大幅な見直しを行いました。

さらに3月初めからは感染予防対策に伴い臨時休校という急な対応となりました。保護者の
皆さまには様々なご協力をいただき感謝しております。引き続きよろしくお願いいたします。

健康観察のお願い

ご家庭に配付しました「健康観察のお願い」でもお知らせしていますが、お子様のきめ細かい健康観察、健康管理につきまして、あらためてお願いいたします。

検温のほか毎日の健康チェックをしていただき、健康観察票への記録をお願いします。



そのほかの話題です



パラスポーツの推進

1月24日にPTAの皆さまとの共催で、小学部や高Aの児童生徒と、多くの保護者の方とポッチャ大会を開催いたしました。とても楽しく、すてきな時間を過ごすことができました。みんなで気軽に楽しい時間を共有できる機会を、これからも増やしていけるとよいと考えています。

交流が広げる「つながり」と笑顔

三ツ境養護学校の周辺には、小中学校や高校など多くの学校があります。小学部、中学部、高等部というそれぞれの発達段階に合わせて、同年代の児童生徒の皆さんと交流することは、お互いを知り合う大変意味のある機会となっています。「交流および共同学習」については学習指導要領にも位置付けられている教育活動です。

小学部と二つ橋小学校との交流、中学部と東野中学校のポッチャ交流、高等部と近隣の高等学校との交流など、今年度様々な交流活動ができましたことについて、あらためて感謝申し上げます。

二俣川看護福祉高等学校の生徒による「おはなし会」には、小学部から高等部までの児童生徒が参加しました。また、旭高等学校と横浜市川井地域ケアプラザと三ツ境養護学校で行っている「ビリーブ」の活動は、今年度教育長より表彰を受けました。2月19日付で本校ホームページに掲載していますので、そちらも合わせてご覧ください。

この機会に、「ビリーブ」についてももう少し詳しく説明いたします。

「ビリーブ」の活動とは・・・(県教育委員会ホームページより)

『三ツ境養護学校の横浜市川井地域ケアプラザを拠点とした地域との交流活動に、平成23年度より、旭高等学校の生徒がボランティアとして参加している。「ビリーブ」と名付けたこの事業においては、部活動生徒を中心に交流を行うなど、ともに学び、ともに楽しみながら交流を続けている。「ビリーブ」は3つの異なるコミュニティを繋げ、お互いの活動の場や他者を理解する機会を拡大したことで「ともに生きる社会の実現」に向けて、貢献している活動である。』(県教育委員会ホームページより引用)



コミュニティスクールが始まります

2月17日に第3回学校評議員会議を開催いたしました。今年度最後の会議では、今年度の取り組みの達成と今後の課題についてまとめた学校評価へのご意見を、それぞれのお立場からいただきました。学習指導や児童生徒支援、地域等との協働や防災などについて、今後の取り組みや目標設定に参考となる貴重なご意見をたくさんいただきました。

またこの日は、パラスポーツの一つ「ボッチャ」を一緒に体験していただいたほか、給食で提供している配慮食を試食していただくなど、三ツ境養護学校の取り組みの実践をご紹介します。学校評議員の皆さまには、今年度学校への多大なご協力を賜りましたこと、厚くお礼を申し上げます。

そして、これまで学校評価や学校運営についてご意見をいただいていた「学校評議員会議」は今年度末までとなり、令和2年4月からは「学校運営協議会」を設置いたします。

地域や保護者の皆さまとの連携をいっそう深め、共に生きる社会を目指して、機能的に運営していきたいと思っております。

特別支援学校は通学区域が広く、学校からは少し離れたところから通う児童生徒も少なくありません。「地域」といったとき、学校が建っている場所を中心にした周辺のことを指すこともあれば、住んでいる「地域」を指すこともあります。

子どもたちの生きる力を育み、自立と社会参加を目指す教育活動の質を高めていく上で、どう「地域」と連携していけるのか、次年度からの学校運営協議会の中でも協議していきたいと思っております。

